

令和5年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

<b>事業名</b>	科学技術システム改革の推進			<b>担当部局</b>	科学技術・イノベーション推進事務局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成18年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	参事官(イノベーション推進担当)付	宇田川 徹		
<b>会計区分</b>	一般会計							
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	科学技術・イノベーション基本法(平成7年法律第130号)、内閣府設置法(平成11年法律第89号)第26条			<b>関係する計画、通知等</b>	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)			
<b>政策</b>	20. 科学技術・イノベーション政策			<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>施策</b>	23. 科学技術・イノベーション基本計画の策定・推進							
<b>政策体系・評価書URL</b>	-							
<b>事業の目的(5行程度以内)</b>	科学技術基本計画、統合イノベーション戦略等を踏まえ、オープンイノベーションの推進及び創業環境の整備等を行う。							
<b>現状・課題(5行程度以内)</b>	近年、GAFAIに代表される巨大IT企業をはじめとして、世界中で、スタートアップが極めて短期間で大企業をしのぐほどに急成長し、産業構造のみならず、都市構造やライフスタイルまでも変革する大きな潮流となっている。こうした巨大企業に続き、米国、中国を中心に世界中で「ユニコーン」企業が多数登場し、各国の市場を席捲しつつある。また、先進諸国は、革新的なスタートアップを創出すべく、スタートアップ・エコシステムの形成に戦略的に取り組んでおり、日本の既存の大企業等においても、「自前主義」から脱却し、多様な分野で機動性を生かした挑戦を行うスタートアップや革新的な技術シーズを有する大学などと連携したオープン型、ディスプレイ型のイノベーションが求められている。							
<b>事業概要(5行程度以内)</b>	スタートアップ・エコシステム拠点都市における拠点都市間の連携促進や、拠点都市の機能強化等のための取組、日本オープンイノベーション大賞等を通じたオープンイノベーションの推進のための好事例の収集と横展開促進等のための取組等を実施する。							
<b>事業概要URL</b>	<a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/ecosystem/index.html">https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/ecosystem/index.html</a> <a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/index.html">https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/index.html</a>							
<b>実施方法</b>	直接実施							
<b>補助率等</b>	-							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算(A)	31	31	55	49.4	69.5	
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	31	31	55	49.4	69.5	
執行額(G)	24.8	24.6	39.5					
執行率(%) =(G)/(F)	80%	79%	72%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	80%	79%	72%					
<b>令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)</b>	<b>歳出予算項目</b>		<b>令和5年度当初予算</b>	<b>令和6年度要求</b>	<b>主な増減理由(・要望額・予備費)</b>			
	(項)	科学技術・イノベーション推進事務局			スタートアップによる公共調達促進プログラムの実施に必要な額を計上したことに伴う増。 重要政策推進枠:25			
	(目)	科学技術基礎調査等委託費	45.9	65.8				
	(目)	委員等旅費	1.3	1.3				
	(目)	諸謝金	0.8	0.8				
	(目)	職員旅費	0.7	0.9				
	(目)	庁費	0.7	0.7				
		その他						
	計(A)	49.4	69.5					

<b>活動内容①</b> (アクティビティ)		スタートアップ・エコシステム拠点都市間の連携強化や国の支援策の周知等を行うための会議の開催等必要な取組を実施 オープンイノベーションの好事例を抽出するため「日本オープンイノベーション大賞」を公募・選定・表彰するとともに、好事例の横展開を実施								
↓										
<b>活動目標及び活動実績</b> ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		スタートアップ・エコシステム拠点都市間の連携促進やオープンイノベーションの好事例の抽出等を実施	必要な情報収集・交換、評価、検討等を実施した件数	活動実績	件	8	8	8	-	-
				当初見込み	件	5	5	5	5	5
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		科学技術・イノベーションの司令塔となる総合科学技術・イノベーション会議の策定する計画に適切に反映し、着実に施策実行につなげることを通じて、科学技術によるイノベーションを促進するためのシステム改革等の推進を目指す。								
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>										
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>										
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		科学技術システム改革に係る政策の推進に資する政策的な方向性を総合科学技術・イノベーション会議が作成する主な計画等に反映する。	総合科学技術・イノベーション会議が作成する主な計画等の数。	成果実績	件	1	1	1	-	
				目標値	件	1	1	1	1	
				達成度	%	100	100	100	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		統合イノベーション戦略2020(令和2年7月17日閣議決定) 統合イノベーション戦略2021(令和3年6月18日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		本件は、毎年度の科学技術・イノベーション政策課題に対応するために、産学官連携の推進、大規模な研究開発の評価、競争的資金制度の改善等、日本全体のイノベーションシステムを社会とともに創り、進めるために必要な情報収集・交換、評価、検討等を行い、科学技術によるイノベーションを促進するためのシステム改革を推進すること等を目的としている。このため、成果や進捗を毎年決まった定量的な数値目標により成果目標(アウトカム)を設定することができない。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		本件は、毎年度の科学技術・イノベーション政策課題に対応するために、産学官連携の推進、大規模な研究開発の評価、競争的資金制度の改善等、日本全体のイノベーションシステムを社会とともに創り、進めるために必要な情報収集・交換、評価、検討等を行い、科学技術によるイノベーションを促進するためのシステム改革を推進すること等を目的としている。このため、成果や進捗を毎年決まった定量的な数値目標により成果目標(アウトカム)を設定することができない。								



科学技術・イノベーション推進事務局  
39.5百万円

〔科学技術システム改革を推進するため、  
情報収集、調査分析、推進施策の実施等を行う。〕

委託【一般競争契約(総合評価)】  
A. 株式会社アットグローバル  
19.8百万円

〔イノベーション・エコシステム形成のための国内外取り組みに関する調査〕

委託【一般競争契約(総合評価)】  
株式会社エフオース  
18.6百万円

〔オープンイノベーションの先導的事例と推進に関する調査〕

その他  
C. その他(民間企業・職員等)  
1.1百万円

〔拠点都市への職員の出張旅費等〕

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と使途の双方で実情が 分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	国内外のエコシステム形成に関する調査・整理・分析	19.8	人件費	会議運営、調査分析の実施等	11.5
			その他の経費	会議運営、調査分析の実施にかかる雑費等	5.4	
			一般管理費	業務実施に関する管理費	1.7	
計		19.8	計		18.6	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社アットグローバル	3010501025764	イノベーション・エコシステム形成のための の国内外取り組みに関する調査	19.8	一般競争契約 (総合評価)	4	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エーフォース	2010001155749	オープンイノベーションの先導的 事例と推進に関する調査	18.6	一般競争契約 (総合評価)	4	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東武トップツアーズ株式会社	4013201004021	会議等各種国内出張旅費	0.5	その他	-	-	-
2	株式会社HEART CATCH	3010401112778	公募選定審査に係る諸謝金	0.1	その他	-	-	-
3	名古屋エムケイ株式会社	3180001051534	出張に係る車両借り上げ	0	その他	-	-	-
4	個人A	-	視察・打合せ旅費	0	その他	-	-	-
5	個人B	-	視察・打合せ旅費	0	その他	-	-	-
6	個人C	-	視察・打合せ旅費	0	その他	-	-	-
7	個人D	-	視察・打合せ旅費	0	その他	-	-	-
8	個人E	-	視察・打合せ旅費	0	その他	-	-	-
9	個人F	-	視察・打合せ旅費	0	その他	-	-	-
10	個人G	-	視察・打合せ旅費	0	その他	-	-	-